

ID No.	125
研究課題名	成人臍帯血ミニ移植後の白血病細胞におけるミスマッチ HLA 発現レベルの解析
研究代表者	谷口 修一 （財団法人 沖中記念成人病研究所・主任研究員）
研究組織 受入教員 研究分担者	渡辺 信和 （東京大学医科学研究所・特任准教授） 山本 久司 （虎の門病院・血液内科医師） 渡辺 恵理 （東京大学医科学研究所・特任研究員） 佐藤 奈津子 （東京大学医科学研究所・共同研究員）
研究報告書	
平成 24 年度は、京都府立医科大学・小児科の石田宏之准教授とのプレミナリーな共同研究で、ハプロー致骨髄移植後の再発症例 2 例をキメリズム解析し、MRD を捉える組合せにおける解析を用いて再発した白血病細胞のミスマッチ HLA が欠失していることを証明することができた。それに基づいて、東大医科研・病解析領域研究室において、移植後のキメリズム、白血病細胞、および HLA-A,B,C の発現レベルを同時に解析するマルチカラー解析システムを構築した。 平成 25 年度は、臍帯血移植後におけるミスマッチ HLA の欠失頻度を調べるべく、2006～2010 年に行われた関東造血幹細胞移植共同研究グループ(KSGCT)による化学療法と全身放射線による骨髄破壊的前処置を行う臍帯血移植の症例においてレトロスペクティブ解析を行った。全 31 症例の中で 14 症例に白血病の再発を認め、そのうちキメリズム解析が可能であった 4 症例で HLA 発現レベルを解析したところ、欠失を認めなかった。 本共同研究事業は研究完了となるが、平成 26 年度以降も同研究を臨床 FACS コアラボにて継続して行い、臍帯血ミニ移植におけるミスマッチ HLA 発現レベルについて前向きな研究を行う予定としている。	